

# 在宅支援センターの紹介

在宅支援センター コミュニティナース 高田 弘美



先ずは『ケアプランサービスくま』という居宅事業所の役割です。もう一つは、久万高原町立病院の『地域の医療連携』を行う役割です。そして地域に飛び出して地域の健康に関する相談や体力づくり、予防活動を支援する『コミュニティケア』という役割があります。

『地域連携室』は、他の病院からの転院や町内外の診療所からの入院相談を受けて、当院の医師につなぐ役割をします。また、当院からの退院時には患者さんに必要なサービスを提供できるよう、地域のケアマネジャーと一緒にカンファレンス（関係者が集い行う会議）などを通じて、サービスの計画を立ててお手伝いをしたりしています。

『コミュニティケア』の活動は多岐にわたり、コミュニケーション活動への参加や、役場の地域包括支援センターと100歳体操の運営に参加す

りに、「在宅支援センター」という部署があります。センターには3名のケアマネジャーと1名の社会福祉士、そして1名の看護師（コミュニティナース）がいます。

ここには多くの役割があり、まずは『ケアプランサービスくま』という居宅事業所の役割です。もう一つは、久万高原町立病院の『地域の医療連携』を行う役割です。そして地域に飛び出して地域の健康に関する相談や体力づくり、予防活動を支援する『コミュニティケア』という役割があります。

『地域連携室』は、他の病院からの転院や町内外の診療所からの入院相談を受けて、当院の医師につなぐ役割をします。また、当院からの退院時

には患者さんに必要なサービスを提供できるよう、地域のケアマネジャーと一緒にカンファレンス（関係者が集い行う会議）などを通じて、サービスの計画を立ててお手伝いをしたりしています。

町立病院の内科外来のとなりに、「在宅支援センター」という部署があります。

『ケアプランサービスくま』は居宅介護事業所です。3名のケアマネジャーが、在宅で介護保険サービスを利用しながら生活されている方のサービス計画を作成するなど、生

活の中のあらゆる相談事に対応しています。

るほか、地域自主組織の地域活動などにも参加しています。また、愛媛大学大学院医学系の地域医療学講座の医学生が、年間を通じて1週間ごと当院で実習を受けられています。

だけ地域に出て、地域の方の健康管理の取り組みや実際の暮らしが見られるように計画を立てています。それは地域の皆さんのお暮らしを見て、地域の課題を知つてもらい、考

える機会にしてほしいと思うからです。そういう目的から、支援センターの看板には、リビングラボというテーマとしての名称を掲げています。今年3月には、同じく愛媛大



## 編集後記

## 編集者雑記

この病院便りは、2017年から定期（4半期毎）発行を始め現在に至ります。町立病院の機能や取組を、広く知つて頂くことを目的に発行しています。また職員のプライベートを垣間見せるようなエッセイを載せて、地域に出て行けない職員も知つて頂こうとスペースを確保しています。次回春号（5月発行）は、紙面を拡大して迎える新人職員の紹介や、新たにシリーズとして病院内の各部屋・各部署の紹介（人を中心機能や役割）をしていこうと思っています。



健康のためにジョギングをしています。町内をあちこち走っていると、年末にこんな風景に出合いました。北村への入り口で、すてきな門松（北村自治会作成）が出迎えてくれました。そして年が明けての日曜日、柳谷中津から明神山に登つたら、すてきな風景が出来ました。ありがとうございました。くまつていいですね！

【平岡】

